

第8回小平市健康増進計画検討委員会 議事録

○開催日時及び場所

日時：平成29年1月26日（木）午後3時から午後3時35分まで

場所：小平市役所 504会議室

○出席委員（欠席者 1名）

安齋 圭太郎（公募委員）

井上 斉（一般社団法人 小平市医師会）

小野 友紀（聖徳大学短期大学部）

木田 明男（小平市立小学校校長会）

小林 智恵子（小平市薬剤師会）

高森 恵美子（公募市民）

多賀谷 守（公益社団法人 東京都小平市歯科医師会）

永野 貴久（小平市スポーツ推進委員会）

大久保 仁恵（東京都多摩小平保健所）

村上 英子（公募市民）

持溝 洋介（公募市民）

安永 明智（文化学園大学）

渡邊 直子（公募市民）

○事務局

健康推進課長

健康推進課長補佐兼予防担当係長

健康推進担当係長

健康推進課管理栄養士

○傍聴者

0名

○委託事業者

1名

○配布資料

資料1 こだいら健康増進プラン（素案）に対する市民意見公募手続の実施状況について

資料2 こだいら健康増進プラン（案）

資料3 こだいら健康増進プラン 概要版（案）

資料4 平成29年度版 小平やさいたっぷりカレンダー

1 開会

委員長より会議の説明がなされ、事務局より配布資料の確認等が行われた。

2 議事

(1) 市民意見公募手続きの実施状況について

健康推進課長が、資料1を用いて、こだいら健康増進プラン（素案）に対する市民意見公募手続きの実施状況について説明を行った。

(2) こだいら健康増進プラン（案）について

健康推進課長が、資料2、3を用いて、こだいら健康増進プラン（案）及び概要版について説明を行った。

委員長 概要版もすっきりとして見やすいと思う。計画書、概要版について気付いた点があれば、この場もしくは1月中に事務局へお知らせいただきたい。委員会としては、本日が最終回となるが、最終案の決定については委員長の一任とさせていただければと思うがよろしいか。

各委員 異議なし。

3 その他

委員長 先ほど申し上げた通り、本日は検討委員会の最終回であるが、この委員会を通じて感じたこと、市への意見などをお一人ずつお聞かせいただければと思う。

委員 最終的にすばらしいものができたことに感激している。とても分かりやすく、デザインもすばらしいものができた。参加させていただいて良かった。

委員 医療に携わる人間として、これを医師会にも周知をし、市民の方々に還元できるような対策をつくっていきたい。

委員 大学での保育士の養成課程で小児栄養という子どもの食と栄養について教鞭をとっているが、その中で、これから妊娠する可能性のある女子、また男子も含め禁煙に関する啓発活動が非常に大事であるということをこの健康プランをたてながら感じていた。やはり、その年齢というのは保健所や医療機関にもなかなか行かない時期であると思うので、そういった点でのアプローチというのが今後必要になってくると強く感じた。

委員 やさいたっぷりカレンダーは本校も毎年取り組んでおり、小学校でも食育という形で、食に対する関心等が高まっている。健康増進という面では、この概要版のさらに概要版として、小学生向けのものができれば良いと考えている。本校の5、

- 6年生の保健の時間で児童に考えて作ってもらうことも考えている。
- 委員 公募市民として参加させていただいた。栄養士として、市の健康センターの事業などにも少し手伝いをさせていただいているが、今回参加したことで、小平市の傾向についてよく知ることが出来た。
- 委員 良いものが出来上がりそうだが、これをいかに市民の方々に目を通していただけるかが勝負になってくると思う。ぜひ、たくさんの人に見ていただきたい。
- 委員 この会議を通して、スポーツと健康とのつながりについて自分なりにもう少し発言出来たら良かったが、勉強する点が多かった。
- 委員 イラストや図表が非常に見やすく分かりやすく、また手に取りやすい良いものが出来ていると思う。去年の夏頃、医師会と共同して保健所でフレイル対策の講演会を行ったが、その後、この計画ですぐに取り入れていただき、フレイルの対策の内容を散りばめていただいたことを嬉しく感じた。地域の健康づくり、保健水準の向上に向けて、皆様と今後も協力していけたらと思っている。
- 委員 公募市民として参加させていただいた。日頃、美容師としてお客様と接する中で、病気・悩みのお話などがあり、健康については関心をもっていた。今回参加して知ったことの中から、お客様と健康について話が出来たら良いと思う。
- 委員 公募市民として参加させていただいた。日頃、リハビリの専門職として、また子育て中の父親として、いろいろご意見させていただいた。今後この計画がどれだけ広がっていくかが大切である。私自身も周りに広めていけたらと思う。
- 委員 公募市民として参加させていただいた。会議の中でいろいろな専門職の方々の意見を伺うことが出来て、思いつかないような視点があった。これからも自分の健康と、自分が関わっていける様々な場面で、今回の計画を活用していきたい。
- 委員 公募市民として参加させていただいた。日頃、食品を扱う仕事をしているが、健康と食という部分、また提供する側として健康を考えるうえでとても良い機会となった。提供する側、業者側もこういった資料もしっかり目を通しながら、安心安全な食に携わっていくことが必要であると感じた。
- 委員長 大学で健康心理学を教えている。行動変容について支援する方法を心理学の立場から考え、また学生や様々なところで話している。今回、すごく良いものが出来たが、今後どのように市民の方々にこれを広めていくかということが課題になってくる。健康づくりは、個人の仕事ではあるが、周りの人が支え、また行政、社会もサポートして健康推進を行い易い環境を整えていくことが今後は非常に大切になってくる。
- 事務局 平成27年9月より今日まで、8回となる検討委員会を行ってきたが、本日をもって無事に終了することが出来た。委員の皆様からは、専門的な意見、市民目線からの意見をいただき感謝したい。今後については、市の内部での意思決定を行った後、3月に計画書として公表する。